

平成 21 年 1 月 26 日



各 位

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社
代 表 者 代表取締役社長 秋田 真次
(コード番号: 5612 東証第一部)
問 合 せ 先 代表取締役常務 深澤 寛
TEL (03) 3662-5171 (代表)

特別損失の発生に関するお知らせ

従来、たな卸資産については主として、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、第1四半期決算(平成20年4月1日～平成20年6月30日)において62百万円を計上いたしましたが、水道用鑄鉄管類の規格変更等に伴い当第3四半期決算(平成20年4月1日～平成20年12月31日)において、たな卸資産評価損(特別損失)が172百万円となることとなりましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第3四半期末のたな卸資産評価損の総額

(連結)

(単位:百万円)

内 容	第1四半期	第3四半期	第3四半期累計
たな卸資産評価損	62	110	172

(個別)

(単位:百万円)

内 容	第1四半期	第3四半期	第3四半期累計
たな卸資産評価損	62	110	172

2. 今後の見通し

上記たな卸資産評価損は、平成21年3月期第3四半期決算において特別損失として計上する予定であります。

なお、平成21年3月期業績に与える影響につきましては現在集計中であり、業績予想の修正が必要になる場合は速やかに公表いたします。

以 上